

漁船海難ゼロへ！

平成27年1月七管内漁船海難 計11隻

(衝突5隻、乗揚2隻、転覆2隻、浸水1隻、火災1隻) 

☆1月の主な海難

【乗揚海難の概要】

・漁船C丸船長は、機関中立にしたものと思い込み、作業に没頭していたところ、クラッチは中立になっておらず、そのまま前進し、乗揚げたもの。

【衝突海難の概要】

・漁船A丸は航行中、接近してくる漁船B丸を認めたものの自船が保持船であったことから、適切な避航動作を行わず、衝突したもの。B丸は見張りを行っていなかった。



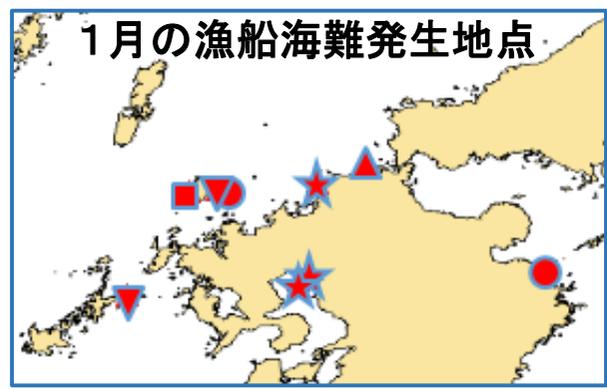
乗揚漁船の状況

この衝突海難は「自船は保持船だから、避けなくてもいい、相手船が避けてくれるだろう」という、あたかも**他人事**であるという考えが生んだ海難です。

例え、自分の船が保持船であっても、**相手船が避けていない、避けているか分からない状況下**であれば、迷わず**自ら避航動作**をとって、海難を防いで下さい。

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	5
乗揚	●	2
転覆	▼	2
浸水	▲	1
火災	■	1
合計11隻		

県別	内訳	
	H26	1月
山口県	7	0
福岡県	27	6
佐賀県	3	0
長崎県	54	4
大分県	20	1



長崎県海域において、一人乗り漁船の転覆海難発生！！

☆長崎県海域において、同日一人乗り漁船の転覆海難が2件発生、船長2名が亡くなるという痛ましい海難事故が発生しております。両船共に転覆した状態で発見され、目撃者等はおらず、はっきりとした原因は、分かっておりませんが、当日は海上風警報が発令されていました。

転覆漁船発見時の状況



●漁具や漁獲量を把握し、バランス良く積み付けていますか？



- 気象・海象**を把握し、航行中の横波、追い波に注意しましょう！
- 自船位置や磯波が高くなる海域を把握して危険海域への接近を回避しよう！